

# 史跡盛岡城跡

## 植栽管理基本計画

平成29年3月

盛岡市



# 序 言

盛岡城は、慶長3年に南部信直が醍醐の花見に参加した際に豊臣秀吉から築城の許可を受け、築城と城下町の設営が本格的に始まったとされています。以降、盛岡城は江戸時代を通じて盛岡藩の藩庁として、また盛岡南部家の居城として機能していましたが、今からおよそ150年前の明治元年に明治維新を迎え、明治7年には城内のほとんどの建物は払い下げられて取り壊されました。

今日、往時の機能を失った盛岡城跡ですが、堅牢な花崗岩で造られた総石垣の美しさから東北三名城と謳われ、多くの市民や観光客の憩いの場として親しまれています。

盛岡市では、この盛岡城跡を次の世代に良好な状態で引き継ぐために、平成23年度に『史跡盛岡城跡保存管理計画』を策定し、さらに平成24年度には、保存・整備・活用の基本方針等に基づいて知的観光資源としながら市民の憩いの場となるよう『史跡盛岡城跡整備基本計画』を策定いたしました。

本書は、史跡内の約3千本の樹木が公園の来園者に危険を及ぼし、また石垣などの主だった遺構の保存に影響を及ぼしているなどの今日的課題が生じていることから、樹木の適切な管理基準を設けることを目的としたものです。

今後とも、歴史遺産としての価値や市民に親しまれる質の高い公園として魅力を高められるよう、保存と整備に努めてまいります。

最後に、本計画策定にあたり、文化庁文化財部記念物課をはじめ、直接ご指導を賜りました盛岡城跡整備委員会委員並びに同委員会植栽専門部会委員をはじめとする関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

平成29年3月

盛岡市長 谷 藤 裕 明

# 例 言

- 1 本書は、盛岡市内丸 57 番 1 ほかに所在する史跡盛岡城跡の植栽管理基本計画書である。
- 2 計画の策定にあたっては、「盛岡城跡整備委員会」のもと史跡盛岡城跡内の植栽のあり方について指導・助言を得るため、有識者及び地元関係者 9 名による「植栽専門部会」を設置し、文化庁記念物課の指導を得て、関係者と協議しながら盛岡市都市整備部がまとめた。
- 3 盛岡城跡整備委員会植栽専門部会の委嘱委員及び構成は次のとおりである。

## 【委員(9名)】

	氏 名	現 職 名 等	分 野 等
部 会 長	倉原 宗孝	岩手県立大学総合政策学部 教授	都 市 工 学
副 部 会 長	三宅 諭	岩手大学農学部 地域デザイン研究室 准教授	景 観 計 画
委 員	斉藤 友彦	小岩井農牧株式会社 環境緑化部 課長	樹木医・環境再生医
〃	坂本 広行	内丸第二町内会副会長, 宗教法人 櫻山神社 宮司	町内会・地権者
〃	竹原 明秀	岩手大学人文社会学部 環境科学課程 教授	植 物
〃	中村 正	株式会社ネクサス 代表取締役	環 境
〃	松田 恭一	菜園一丁目町内会 会長	町 内 会
〃	松田 陽二	大通一丁目町内会 会長	町 内 会
〃	渡辺 敏男	有限会社〈盛岡〉設計同人 代表取締役	造園・景観計画

## 【関係者】

文化庁文化財部記念物課, 岩手県教育委員会生涯学習文化課

商工観光部観光交流課, 都市整備部景観政策課, 教育委員会歴史文化課

## 【オブザーバー】

特定非営利活動法人「緑の相談室」(盛岡城跡公園指定管理者)

## 【事務局】

都市整備部 公園みどり課

## 【協力者】

株式会社 創宇舎

- 4 本計画策定に係る事業実施体制及び事務局は以下のとおりである。

盛岡市都市整備部

都市整備部長

都市整備技術監兼次長

公園みどり課長

課長補佐

船水 義一

宮田 晃

佐竹 克也

森 勝利

計画グループ副主幹	美濃部 計久
文化財副主幹	似内 啓邦
主査	長澤 幸多
技師	田村 雄

5 本書で取り扱う植栽については、次の文献によった。特に史跡内の植生の配置及び本数は、平成21(2009)年度に公益財団法人岩手県公共嘱託登記土地家屋調査士協会に委託して実施した「植生調査成果図」によるもので、その後の枯渇や倒木などにより減数を生じているため現状とは一致しておらず、本数は低木類の株数も本数として数えた。

なお、樹木の調査時期が冬季間となったため、樹種が特定できないエドヒガンやソメイヨシノなどは単にサクラとしており、その他の樹種名は原則として「植生調査成果図」に因っており、現在使われている植物分類学の新所見は別表において示した。

- (1) 『盛岡城跡地質調査』盛岡市 1966
- (2) 『岩手公園内樹木目録』盛岡市 1981.9
- (3) 『岩手公園老木調査－老木調査票・樹木写真帳』盛岡市 1993.3
- (4) 『岩手公園樹木調査写真帳』盛岡市 1994.3
- (5) 「植生調査成果図」『史跡盛岡城跡保存管理計画』盛岡市 2012.3
- (6) 『史跡盛岡城跡整備基本計画』盛岡市 2013.3
- (7) 「三ノ丸植生一覧」『史跡盛岡城跡三ノ丸石垣修復等基本設計』盛岡市 2016.3

6 本書で取り扱う盛岡城跡の地域の呼称は、『史跡盛岡城跡整備基本計画』に準拠し、地域を表す本丸・二ノ丸・三ノ丸・淡路丸・榊山稻荷曲輪をそのまま用い、曲輪外周部は主な遺構の名称から台所跡・鉛蔵跡・本蔵跡・孫蔵跡・本新蔵跡とした。

7 整備の基準とする年代は、『史跡盛岡城跡整備基本計画』において「石垣の構築が完了し、内曲輪に配された各施設が機能していた廃城期(幕末～明治7(1874)年)以前」の状態を大概の基準とする。」と定めていることから、盛岡藩家老席日記「雑書」や「覚書」など藩の公式文書で改称された記録に基づいた名称を用いた。

また、施設の敬称である「御」は原則として略した。

例：三重矢倉(～寛永11年)、三階櫓(延宝4年～天保12年)→天守(天保13年以降)、末門(～文化4年)→本丸門(文化5年以降)、大奥通用門(～宝暦19年)→不明門(宝暦15年以降)、鶴住門(～嘉永4年)→鳩森門(嘉永5年以降)など

8 計画策定にあたり、次の機関・個人に御協力と御指導をいただいた(五十音順・敬称略)。

小田原市文化財課、石川県金沢城調査研究所、熊本城調査研究センター、高松市教育局文化財課、名古屋市観光文化交流局名古屋城総合事務所、姫路市教育委員会文化財課、姫路市城郭研究室、姫路城管理事務所、文化庁記念物課、松山市教育委員会文化財課、もりおか歴史文化館、飯山智久、市澤泰峰、大谷輝彦、太田悌子、栗田正芳、佐藤由紀男、鈴木俊次、諏訪間順、高上拓、竹内宇哲、多田暢久、土屋健作、土屋了介、富田和気男、西形達明、藤掛泰尚、丸山宏、吉村龍二、渡辺千尋

9 本書の作成にあたっては、盛岡城跡整備委員会植栽専門部会及び庁内検討会において協議と検討を重ねて事務局が編集し、当該業務の受託者である(株)創宇舎がこれを補助した。

# 目 次

序言

例言

目次

表目次

挿図目次

写真目次

## I 植栽管理基本計画策定の目的と位置づけ

- |   |                                 |    |
|---|---------------------------------|----|
| 1 | 計画策定の趣旨・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 1  |
|   | (1) 計画の目的                       |    |
|   | (2) 計画策定の趣旨                     |    |
|   | (3) 計画の対象範囲                     |    |
|   | (4) 盛岡城跡と盛岡城跡公園の特徴              |    |
|   | (5) 盛岡城跡の植栽管理のあり方               |    |
| 2 | 樹木管理の評価と課題，基本理念，基本方針・・・・・・・・    | 6  |
|   | (1) 評価と課題                       |    |
|   | (2) 基本理念                        |    |
|   | (3) 基本方針                        |    |
| 3 | 計画策定の進め方・・・・・・・・・・・・・・・・        | 7  |
|   | (1) 史跡内外の現況と諸課題の整理              |    |
|   | (2) 計画策定上の方針                    |    |
|   | (3) 計画策定上の適用指針                  |    |
| 4 | 基本計画策定の経過・・・・・・・・・・・・・・・・       | 10 |
|   | (1) 植栽専門部会の設置と構成                |    |
|   | (2) 植栽管理基本計画の策定経過               |    |
|   | (3) 委員会での主な議論と議事録               |    |

5 『史跡盛岡城跡保存管理計画』における植栽管理の位置付け	14
(1) 植栽調査	
(2) 植生管理の方針	
(3) 植生管理の項目と方法	
6 『史跡盛岡城跡整備基本計画』における植栽管理の位置付け	19
(1) 樹木の現況	
(2) 景観・環境整備の方針	
II 盛岡市の景観計画と植栽管理	
1 景観計画	21
2 盛岡市屋外広告物条例	23
3 景観計画の活用	23
(1) 石垣の眺望保全	
(2) 街路の景観形成	
(3) 河川の景観形成	
(4) 景観重要公共施設	
(5) 屋外広告物	
4 建築物の高さ制限について	25
(1) 眺望景観保全による高さ制限	
(2) 高さ制限の課題	
5 史跡と植栽管理	26
(1) 『史跡盛岡城跡保存管理計画』と植栽管理	
(2) 本質的価値への植栽の影響	
III 盛岡城跡の樹木と管理	
1 盛岡城跡の沿革	27
2 盛岡城の城地と樹木の払い下げ	28
(1) 城地の接収から建物解体	
(2) 城地の払い下げ	
3 盛岡城の樹木	29
(1) 明治7年の樹木の払い下げと明治24年の樹木売却	
(2) 明治39年の岩手公園開園	
(3) 昭和41年の植生調査	
(4) 昭和20年代から50年代の植栽計画	
4 樹木の調査と課題	33
(1) 樹木の調査	
(2) 植生調査について	
(3) 樹木の課題	
5 指定管理者「緑の相談室」による植栽管理	40
(1) 管理の基本方針	

(2) 植栽管理の状況

(3) 植栽管理の基準

#### IV 史跡全域と曲輪ごとの植生の特徴

- 1 史跡内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 48
  - (1) 本丸
  - (2) 二ノ丸
  - (3) 三ノ丸
  - (4) 淡路丸
  - (5) 榊山稻荷曲輪
  - (6) 台所跡
  - (7) 鉛蔵跡
  - (8) 本蔵跡
  - (9) 孫蔵跡
  - (10) 本新蔵跡
  - (11) 鶴ヶ池と亀ヶ池
  - (12) 櫻山神社周辺
- 2 史跡全域と周辺・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 68
  - (1) 盛岡城跡公園周辺
  - (2) 史跡隣接地

#### V 植栽管理の方針

- 1 石垣や遺構の保全に影響を及ぼす樹木の取り扱い・・・・・・・・ 70
  - (1) 石垣の積み石に影響を及ぼしている樹木
  - (2) 石垣に近接している樹木
  - (3) 土塁・堀跡等法面を洗掘している樹木
  - (4) 遺構の保全上支障となる樹木
- 2 史跡の保存整備上支障となる樹木・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 76
  - (1) 史跡整備
  - (2) 発掘調査
  - (3) 整備上支障となるその他の樹木
- 3 歴史的価値を構成する樹木の保護育成・・・・・・・・・・・・・・・・ 77
  - (1) 江戸時代から生育する可能性のある樹木
  - (2) 明治期以降から生育する樹木
  - (3) 樹齢が古いとされる樹木
  - (4) 幹周り 3 m以上の樹木
  - (5) 生育数が少ない樹木
  - (6) 移入された樹木
  - (7) 記念に植えられた樹木
  - (8) 標本木・副標本

4	危険を及ぼす可能性のある樹木	86
VI	史跡の修景・景観・眺望に係る植栽管理	
1	視点場の設定	90
2	眺望確保のための設定	90
3	史跡の修景を向上するための視点場	90
(1)	藩主や藩士の登城ルートに沿った当時の景観修景	
(2)	園路沿い石垣裾部周りの修景	
4	城外眺望のための視点場	91
(1)	本丸西側「夕陽亭」から城下	
(2)	本丸中央から南昌山	
(3)	本丸東側から早池峰山	
(4)	二ノ丸西側「望岳亭」から岩手山	
5	石垣眺望のための視点場	91
(1)	西側からの遠景～近景	
(2)	西側からの近景	
(3)	東側からの中景	
(4)	東側からの遠景～近景	
(5)	北側からの近景	
(6)	南側からの近景	
6	史跡の修景を維持させるための植物の管理	98
(1)	季節感を体感できる草木・樹木の管理	
(2)	除草等	
(3)	落葉等清掃	
(4)	植栽樹木の管理	
(5)	刈取り除草	
(6)	ボランティア団体等との協力	
VII	地区ごとの植栽管理方針	
1	史跡内	100
(1)	本丸	
(2)	二ノ丸	
(3)	三ノ丸	
(4)	淡路丸	
(5)	榊山稻荷曲輪	
(6)	台所跡	
(7)	鉛蔵跡	
(8)	本蔵跡	
(9)	孫蔵跡	
(10)	本新蔵跡	

(11) 鶴ヶ池と亀ヶ池	
(12) 櫻山神社周辺	
2 史跡隣接地	111
(1) 芝生広場	
(2) 内丸緑地	

## VIII 事業計画

1 年次計画	112
(1) 短期計画・第1期植栽管理計画	
(2) 中期計画・第2期植栽管理計画	
(3) 長期計画・継続的な日常管理計画	
2 事業費概算	113
(1) 植栽管理の方針に関する概算事業費	
(2) 史跡の修景・景観・眺望に関する概算事業費	
3 日常管理	114
(1) 管理体制	
(2) 管理経費	

## IX 実施に向けた考え方

1 全体の方針	116
(1) 基本理念・基本方針	
(2) 樹木管理の考え方	
(3) 地区の特色	
2 文化財の保護	116
(1) 石垣の保全	
(2) 遺構の保護	
3 樹木個々の管理	117
(1) 幹周りが3m以上の樹木	
(2) 生育数が少ない樹木	
(3) 移入された樹木	
(4) 保護樹木	
(5) 標本木・副標本木	
(6) 危険を及ぼす可能性のある樹木	
4 修景・景観・眺望に関わる樹木	117
(1) 修景・景観・眺望	
(2) 優先される植栽管理	
5 実施に向けた取り組み	118
(1) 日常管理と樹木の剪定・伐採	
(2) 市民への周知と事業期間	
(3) 史跡や都市公園としての樹木のあり方	

# 表 目 次

表 1	盛岡城跡の樹木構成	17
表 2	盛岡城跡の主要樹木	19
表 3	良好な景観の形成のための行為の制限に関する事項	22
表 4	盛岡城跡の在来木	29
表 5	樹木調査(昭和 41 年 2 月 26・27 日調査)	32
表 6	盛岡城跡の樹木(1)	36
表 7	盛岡城跡の樹木(2)	37
表 8	盛岡城跡の樹木(3)	38
表 9	盛岡城跡の樹木(4)	39
表 10	指定管理者の維持管理内容	47
表 11	石垣の積み石に変位を及ぼしている樹木	72
表 12	石垣の積み石に近接している樹木	74
表 13	樹齢が古いとされる樹木	78
表 14	幹周り 3 m以上の樹木	80
表 15	生育数が 5 本以下の樹木(1)	82
表 16	生育数が 5 本以下の樹木(2)	83
表 17	移入された樹木	85
表 18	標本木と副標本木	86
表 19	危険を及ぼす可能性のある樹木	88
表 20	史跡の修景に関わる樹木	92
表 21	史跡の景観・眺望に関わる樹木	95
表 22	事業計画	115
表 23	盛岡城跡の樹木分類(1)(現在使われている植物分類学の新所見に基づく)	119
表 24	盛岡城跡の樹木分類(1)(現在使われている植物分類学の新所見に基づく)	120
表 25	盛岡城跡の樹木分類(1)(現在使われている植物分類学の新所見に基づく)	121
表 26	盛岡城跡の樹木分類(1)(現在使われている植物分類学の新所見に基づく)	122

# 挿 図 目 次

第 1 図	史跡盛岡城跡の位置	1
第 2 図	保存管理区分	3
第 3 図	植栽管理区分	5
第 4 図	植生配置の概要	18
第 5 図	景観計画区域	21
第 6 図	石垣眺望の視点場	23
第 7 図	「巖手縣公園設計図」	31
第 8 図	植生調査	35
第 9 図	本丸の植生構成	48
第 10 図	二ノ丸の植生構成	50
第 11 図	三ノ丸の植生構成(1)	51
第 12 図	三ノ丸の植生構成(2)	52
第 13 図	淡路丸の植生構成(1)	53
第 14 図	淡路丸の植生構成(2)	54
第 15 図	榊山稻荷曲輪の植生構成	55
第 16 図	台所跡の植生構成	57
第 17 図	鉛蔵跡の植生構成(1)	58
第 18 図	鉛蔵跡の植生構成(2)	59
第 19 図	本蔵跡の植生構成	61
第 20 図	孫蔵跡の植生構成	62
第 21 図	本新蔵跡の植生構成	63
第 22 図	鶴ヶ池の植生構成	65
第 23 図	亀ヶ池の植生構成	66
第 24 図	櫻山神社周辺の植生構成	67
第 25 図	石垣の積み石に変位を及ぼしている樹木	73
第 26 図	石垣の積み石に近接している樹木	75
第 27 図	樹齢が古いとされる樹木	79
第 28 図	幹周りが 3 m 以上の樹木	81
第 29 図	記念植樹と標本木・副標本木	87
第 30 図	危険を及ぼす可能性のある樹木	89
第 31 図	史跡の修景のための視点場	93
第 32 図	城外眺望のための視点場	96

第 33 図	石垣眺望のための視点場	97
第 34 図	盛岡城跡の植生と遺構との重複関係	123
第 35 図	本丸の植生と遺構との重複関係	124
第 36 図	二ノ丸の植生と遺構との重複関係	125
第 37 図	三ノ丸の植生と遺構との重複関係	126
第 38 図	淡路丸東側・鉛蔵跡北側の植生と遺構との重複関係	127
第 39 図	淡路丸西側・榊山稻荷曲輪・孫蔵跡の植生と遺構との重複関係	128
第 40 図	台所跡の植生と遺構との重複関係	129
第 41 図	本蔵跡東側の植生と遺構との重複関係	130
第 42 図	本蔵跡西側の植生と遺構との重複関係	131
第 43 図	本新蔵跡の植生と遺構との重複関係	132
第 44 図	鶴ヶ池北側の植生と遺構との重複関係	133
第 45 図	鶴ヶ池南側(1)の植生と遺構との重複関係	134
第 46 図	鶴ヶ池南側(2)の植生と遺構との重複関係	135
第 47 図	亀ヶ池北側の植生と遺構との重複関係	136
第 48 図	亀ヶ池南側の植生と遺構との重複関係	137
第 49 図	櫻山神社周辺の植生と遺構との重複関係	138
第 50 図	盛岡東警察署から望む盛岡城跡	139
第 51 図	不明門跡から望む二ノ丸と本丸	139
第 52 図	亀ヶ池から望む三ノ丸	140
第 53 図	毘沙門橋から望む淡路丸	140

# 写真目次

写真 1	本丸のモミジ	100
写真 2	本丸(明和三年「盛岡城図」)	100
写真 3	二ノ丸のトチノキ	101
写真 4	二ノ丸(明和三年「盛岡城図」)	101
写真 5	三ノ丸瓦門のサワラ	102
写真 6	三ノ丸(明和三年「盛岡城図」)	102
写真 7	淡路丸のソメイヨシノ	103
写真 8	淡路丸(明和三年「盛岡城図」)1	103
写真 9	榊山稲荷曲輪のアカマツ等	104
写真 10	榊山稲荷曲輪(明和三年「盛岡城図」)	104
写真 11	台所跡のスギ・アカマツ等	105
写真 12	台所跡(明和三年「盛岡城図」)	105
写真 13	鉛蔵跡のウメ等	105
写真 14	鉛蔵跡(明和三年「盛岡城図」)	105
写真 15	本蔵跡の遠景	106
写真 16	本蔵跡(明和三年「盛岡城図」)	106
写真 17	孫蔵跡の近景	107
写真 18	孫蔵跡(明和三年「盛岡城図」)	107
写真 19	本新蔵跡のモミジ等	108
写真 20	本新蔵跡(明和三年「盛岡城図」)	108
写真 21	鶴ヶ池 のケヤキ等	109
写真 22	鶴ヶ池・亀ヶ池(明和三年「盛岡城図」)	109
写真 23	亀ヶ池のトチノキ	110
写真 24	櫻山神社周辺(明和三年「盛岡城図」)	110
写真 25	盛岡城跡の全景(南東上空から)	141
写真 26	盛岡東警察署から望む盛岡城跡(北東から)	141
写真 27	プラザ「おでつて」から望む盛岡城跡(東から)	142
写真 28	下ノ橋方面から望む盛岡城跡(南東から)	142
写真 29	明治7年の建物解体と樹木伐採前の盛岡城(西から)	143
写真 30	中ノ橋から下ノ橋方面の中津川(北から・公園開園前)	143
写真 31	建物解体と樹木伐採後の盛岡城跡(北西から・公園開園前)	144
写真 32	建物解体と樹木伐採後の盛岡城跡不明門(北から・公園開園前)	144

写真 33	遷座造営中の櫻山神社(北から・明治 32・33 年頃) . . . . .	145
写真 34	「巖手公園凌虚亭ヨリ中津河東ノ市街地ヲ望ム」(西から・明治 33~39 年) . .	145
写真 35	「巖手公園鶴ヶ池ノ全容」(北から・明治 39 年公園開園時) . . . . .	146
写真 36	「巖手公園鶴ヶ池ノ下流」(南から・明治 39 年公園開園時) . . . . .	146
写真 37	「巖手公園西北面上リ口」(北から・明治 39 年公園開園時) . . . . .	147
写真 38	「巖手公園度(マ)雲橋」(西から・明治 39 年公園開園時) . . . . .	147
写真 39	「巖手公園」(北から・明治 39 年公園開園時) . . . . .	148
写真 40	「巖手公園渡雲橋」(北東から・明治 39 年公園開園時) . . . . .	148
写真 41	「故南部伯爵像」(南西から・明治 41 年銅像建立時) . . . . .	149
写真 42	「巖手公園 二ノ丸ト渡雲橋」(北から・明治 40~大正 6 年) . . . . .	149
写真 43	「巖手公園 運動場と双龍亭」(北から・明治 40 年~大正 6 年) . . . . .	150
写真 44	「巖手公園 本丸と南部伯爵銅像」(北から・明治 41 年~大正 6 年) . . . . .	150
写真 45	「(巖手公園) 二ノ丸ヨリ本丸ヲ望ム」(北西から・大正 3~大正 6 年) . . . .	151
写真 46	「(盛岡) 巖手公園上リ口」(北西から・大正 8 年) . . . . .	151
写真 47	石垣に変位を与えているケヤキ . . . . .	152
写真 48	石垣に変位を与えているエドヒガン . . . . .	152
写真 49	石垣に変位を与えているケヤキ . . . . .	152
写真 50	石垣に変位を与えているエドヒガン . . . . .	152
写真 51	石垣に近接しているイチイとコウヤマキ . . . . .	152
写真 52	石垣に近接しているソメイヨシノ . . . . .	152
写真 53	遺構の保存上支障となるトチノキやモミジ . . . . .	152
写真 54	史跡整備上支障となるサワラ . . . . .	152
写真 55	洗掘の影響を及ぼしているケヤキとツツジ . . . . .	153
写真 56	洗掘の影響を及ぼしているキハダとツツジ . . . . .	153
写真 57	樹齢が古いとされるエドヒガン . . . . .	153
写真 58	樹齢が古いとされるソメイヨシノ . . . . .	153
写真 59	枯損し危険を及ぼす可能性のあるソメイヨシノ . . . . .	153
写真 60	倒れて危険を及ぼす可能性のあるアカマツ . . . . .	153
写真 61	落枝し危険を及ぼす可能性のあるケヤキ . . . . .	153
写真 62	落枝し危険を及ぼす可能性のあるケヤキ . . . . .	153
写真 63	落枝し危険を及ぼす可能性のあるケヤキ . . . . .	154
写真 64	落枝し危険を及ぼす可能性のあるトチノキ . . . . .	154
写真 65	石垣崩壊・落枝の危険を及ぼすアカマツ . . . . .	154
写真 66	史跡の修景上課題となるサワラ . . . . .	154
写真 67	史跡の修景上課題となるトチノキ . . . . .	154
写真 68	史跡の修景上課題となるトチノキ . . . . .	154
写真 69	眺望を阻害しているケヤキ . . . . .	154
写真 70	眺望を阻害しているモミジ . . . . .	154

